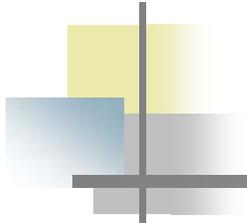


2009年10月30日  
へき地保健医療対策検討会



# へき地で働く医師の背景と思い

---

自治医科大学 地域医療学センター  
松本正俊, 梶井英治

# へき地医師の特徴

(自治医大出身者1,255名の多変量解析)

	義務年限後もへき地 経験あり(倍)	義務後も長期へき地 経験*あり(倍)
性別(女性が男性に対して)	1.21	1.76
入学時年齢(一歳増加あたり)	0.94	1.13
出身高等学校(私立が国公立に対して)	0.56	0.81
出身地(へき地が都市部に対して)	1.89	1.90
入学時順位(10%上昇あたり)	1.00	1.00
卒業時順位(10%上昇あたり)	0.95	0.92
初期研修(非大学病院が大学病院に対して)	1.31	1.96
専門分野(総合医が非総合医に対して)	7.63	32.07

\* 長期へき地経験とは、9年間の義務年限が終了した後も自主的に6年以上へき地医療を経験したことを指す。太字は統計学的に有意。

\*\* 一般内科医、一般外科医、小児科医、総合診療医、全科診療医など総合性の高い分野の医師を総合医とした。

(Matsumoto M et al : J Rural Health 24, 360-368, 2008. 地域医療テキスト2009年)

# へき地医師が重視している事柄

項目	重視度係数
行政の姿勢	120.0
医療スタッフ	117.0
事務スタッフ	109.0
医療機器	106.0
後方病院	26.8
出張のしやすさ	7.0
生涯教育の機会	6.6
代診の得やすさ	5.9
休日の取りやすさ	5.0
給料	4.5
診療のゆとり	4.1
診療所の広さ	3.1
勤務時間	2.2
診療所の新しさ	0.9

全国の公立へき地診療所の医師126名へのアンケート調査

重視度係数 = (非常に重視する人数 + 重視する人数) / (まったく重視しない人数 + 重視しない人数)

(Matsumoto M et al : Aust J Rural Health 9, 64-68, 2001.. 地域医療テキスト2009年)

# へき地医師が満足している事柄

項目	満足度係数
勤務時間	5.3
後方病院	4.0
医療スタッフ	3.2
事務スタッフ	3.2
給料	3.1
診療のゆとり	2.8
診療所の新しさ	2.2
医療機器	2.1
診療所の広さ	2.0
出張のしやすさ	1.3
生涯教育の機会	1.3
休日の取りやすさ	1.1
代診の得やすさ	0.9
行政の姿勢	0.9

全国の公立へき地診療所の医師126名へのアンケート調査

満足度係数 = (非常に満足 + 満足の人数) / (非常に不満 + 不満の人数)

(Matsumoto M et al : Aust J Rural Health 9, 64-68, 2001.. 地域医療テキスト2009年)